



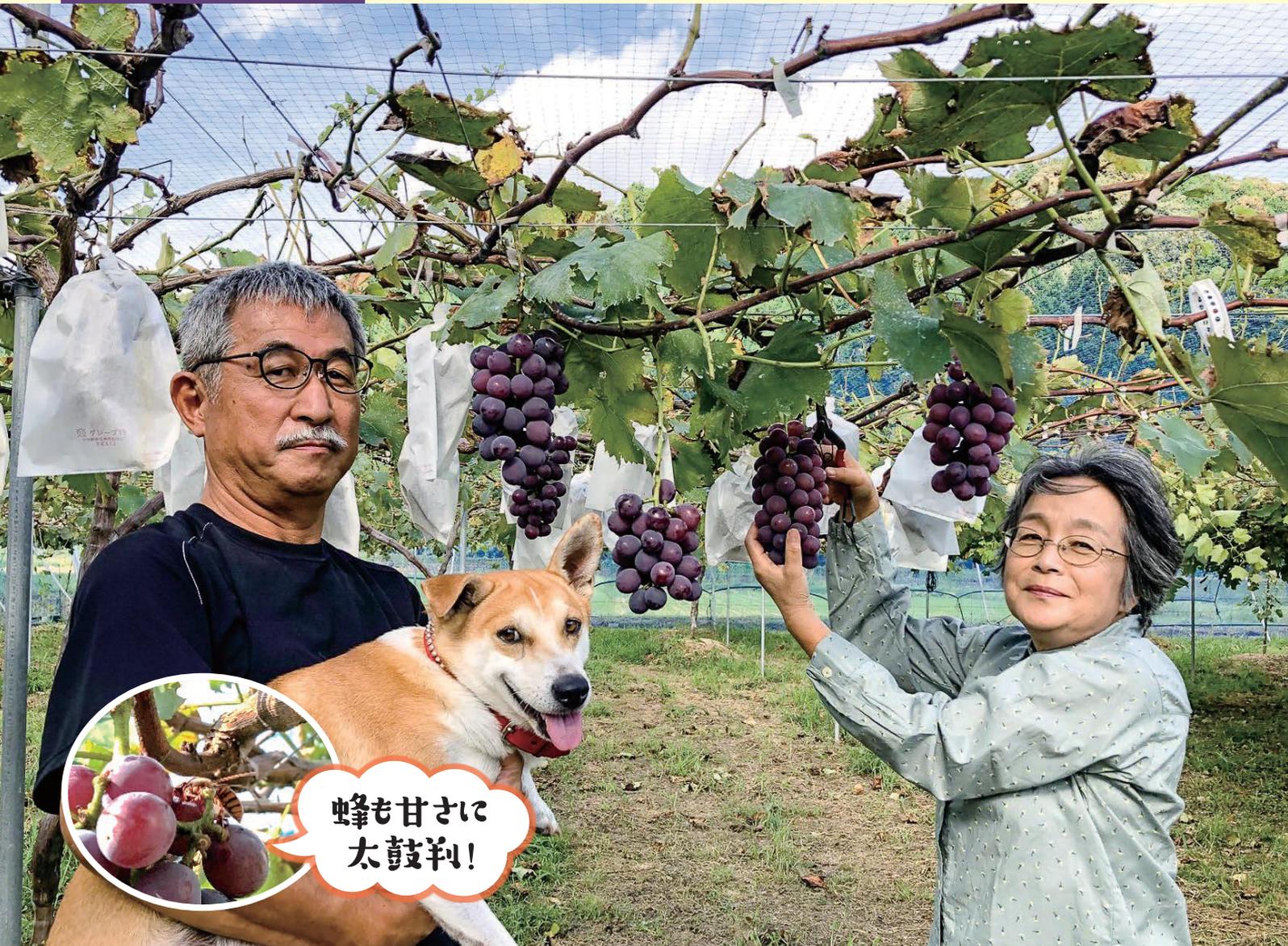
No.67

令和4年10月25日発行

おい町

議会だより

Ohi Town Assembly Official Report



蜂蜜の甘さに
太鼓判!

関連記事 P20

Contents

特集	令和3年度決算を認定/中学生と懇談会	2
定例会議	工事請負契約・補正予算などを審議	8
活動報告	中央要望/委員会所管事務調査/議員研修会	12
一般質問	交通政策などについて 4人登壇	15
追跡	グランピング調査について(ちょっと深掘り)	19

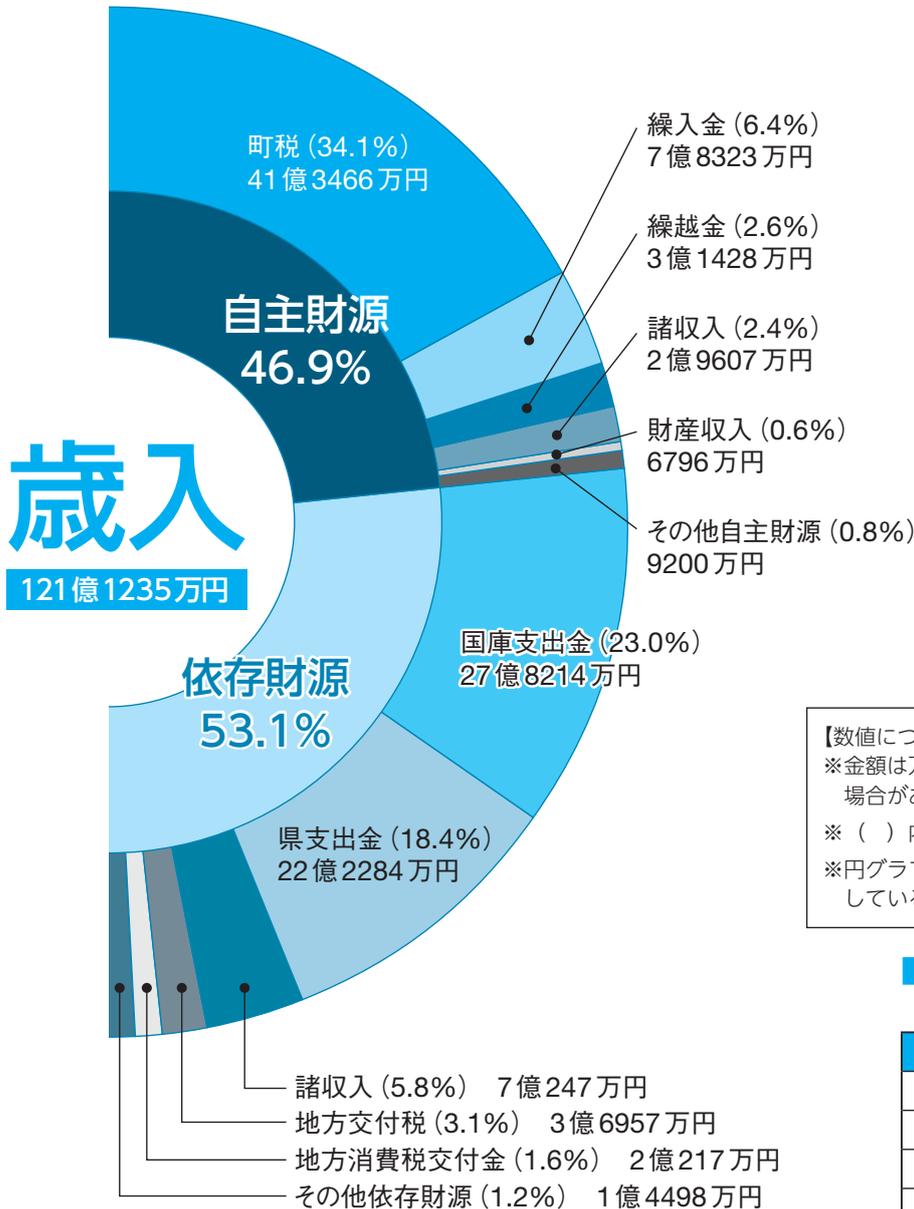
決算を認定

特集1

特集

審議を行い、町財政の健全性を確認しました。

歳入 121億1235万円



指標

財政力指数 …… 0.99%

基準となる収入額を支出額で割った数値。過去3年間の平均値を示す。1.00を上回れば財源に余裕があるといえる。

歳入

自主財源 …… 46.9%

町が自らの権限に基づいて自主的に徴収できる財源

依存財源 …… 53.1%

国庫の基準等に基づき交付・割当てられる財源

【数値について】

※金額は万円単位で表しているため合計と一致しない場合があります。

※（ ）内は構成比率です。

※円グラフ、表の金額および率は、各項目で四捨五入しているため合計金額があわない場合があります。

■財源のうち主な原発関連収入

(歳入全体の52.6%)

項目	金額
町税	3,024,287千円
国庫支出金	1,887,519千円
県支出金	1,459,518千円
合計	6,371,324千円

監査委員から提出された意見書より抜粋

令和3年度決算から見る財政事情は健全な水準を保ち安定していますが、コロナ禍の長期化による財政圧迫や、公共施設の老朽化に伴う維持補修費用の増大により、財政の硬直化が進むことが懸念されます。併せて福井県嶺北地方を襲った大雨など自然災害による大規模な災害への対応など、突発的な財政環境の悪化に対応できる備えが不可欠であると言えます。このような状況を踏まえ、ウィズコロナ、アフターコロナへの取り組みや、新たな財源の確保、「公共施設等総合管理計画」に基づき公共施設などの生活インフラ設備の総合的なマネジメントを確実に実行し、補助金や各種事業の内容精査が必要になってくるのではないかと考えます。

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

9月定例会議

令和3年度

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

一般会計

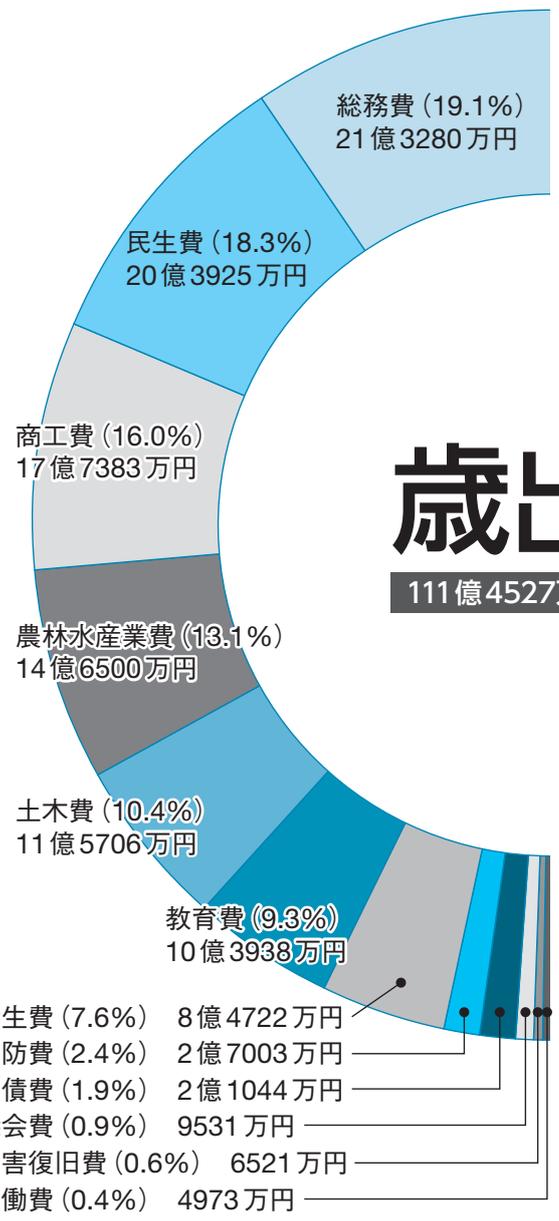
8月31日から9月1日にかけて予算決算常任委員会で

歳出 111億4527万円

町民一人当りの歳出決算額

(令和4年3月末の人口8,040人で算出)

総務費	26万5,274円	
地域振興や一般事務に使うためのお金		
民生費	25万3,638円	
各種福祉事業を行うためのお金		
衛生費	10万5,376円	
町民の健康管理やごみ処理に使うためのお金		
農林水産業費	18万2,214円	
農業や林業・水産業の振興に使うためのお金		
商工費	22万626円	
観光や商工業の振興に使うためのお金		
土木費	14万3,913円	
道路やまちづくりなどに使うためのお金		
消防費	3万3,586円	
消防施設や消防団運営に使うためのお金		
教育費	12万9,276円	
学校教育や社会教育などに使うためのお金		
公債費	2万6,174円	
町の負債の元金や利子の返済に使うためのお金		
議会費	1万1,855円	
町議会の運営を行うためのお金		
その他	1万4,296円	
合計	138万6,228円	



歳出

111億4527万円

特別会計

(単位：万円)

区分	歳入			歳出			純計額 歳入歳出 差引額
	総額	他会計繰入金	純計額	総額	他会計繰出金	純計額	
後期高齢者医療	10,386	2,586	7,800	10,380	0	10,380	△2,580
国民健康保険	91,081	5,920	85,161	90,353	110	90,243	△5,082
国民健康保険診療	9,888	786	9,102	9,337	0	9,337	△235
介護保険	96,647	16,606	80,041	93,362	0	93,362	△13,321
介護サービス	590	260	330	590	0	590	△260
簡易水道	25,221	12,500	12,721	25,221	0	25,221	△12,500
農業集落	36,715	27,633	9,082	36,715	0	36,715	△27,633
特定環境保全公共下水道	11,615	9,381	2,234	11,615	0	11,615	△9,381
合計	282,144	75,672	206,472	277,573	110	277,463	△70,911

査について報告します。



こども家族館



頑張る町民を応援!!

●まちづくり団体支援事業

▶ 176万7千円

まちづくりにチャレンジする民間団体などへ補助を行っています。活動が自立できるまでの支援ですが、現在、7団体がこの支援制度を使い、まちづくり活動を頑張っています。

問 コロナ禍で思うような活動ができていないと思うが、町の関与は。

答 指導などを含め、団体として自立した活動ができるようサポートしていきたい。



学校給食センター

こども家族館



●こども家族館管理運営事業

▶ 8,673万3千円

こども家族館は県が建設し、管理運営はおおい町が行っています。コロナ禍で利用客が減少しており、県から運営費が支払われていないため、運営費捻出について建設当時から課題となっています。

問 管理運営費を県に求める必要がある。

答 建設当時の経緯もあることから、直接的な支援ではなく、こども家族館にとってプラスになるような側面的な部分で支援を引き出せるよう取り組みたい。

学校教育



●給食センター事業

▶ 1億121万3千円

- ・給食回数 199回 給食数 815食/日
- ・学校給食センター換気設備等改修工事
- ・自動洗米機購入

おおい町では給食の提供を学校給食センターで行っており、児童・生徒の健康増進や体力向上のため、栄養バランスの取れた給食を提供しています。

問 学校給食の無償化はできないのか。

答 児童・生徒や保護者の食への関心および、食育の推進につなげる意義から、今後も保護者負担は継続していく考えである。

P9に関連記事あり

令和3年度の決算審

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

子育てを応援!!

●住民税非課税世帯臨時特別給付金事業

▶ 6,072万6千円

- ・低所得の子育て世帯に対し、児童1人当たり生活支援特別給付金5万円を給付
- ・住民税非課税世帯に対し、1世帯当たり10万円を給付し、灯油購入引換券5千円を交付

●子育て世帯臨時特別給付金給付事業

▶ 1億3,385万9千円

- ・子育て世代に対し、児童一人当たり10万円を給付

●にこにこ赤ちゃん応援事業

▶ 296万7千円

乳幼児期の子育てに係る経済的負担を軽減し、健やかな成長と少子化対策の推進を図るため、子育て世帯へのおむつ購入費を醸成しています。



●子育て支援医療費助成金

▶ 2,556万8千円

子育て支援として、18歳以下の医療費を助成し、医療費無償化を実施しています。

●進学サポート事業

▶ 3,467万円

就学意欲のある若者の未来を応援するため、国内の大学などに在学する者を扶養する保護者などへ経済的支援を実施しています。

問 この事業は来年度以降も続けていくのか。

答 令和5年度で一旦見直しを行うが、継続していきたいと考えている。

ふるさと納税

●ふるさと納税推進事業

▶ 1,230万2千円

令和3年度、本町におけるふるさと納税額は2,140万8千円ありました。

問 ふるさと納税額を伸ばしていくための方策は。

答 おおい町ふるさと納税推進協議会を設置し、商品開発や提供方法など町内事業者への支援に取り組んでいる。



デマンドバス

交通対策

●バス対策事業

▶ 9,953万9千円

令和3年度から大飯地域ではデマンドバスの運行が実現し、今年8月末では413人が利用者登録をされており、医療機関や商業施設への外出支援につながっています。

問 より利便性の高い交通手段となるよう利用者の意見を聞くべきである。

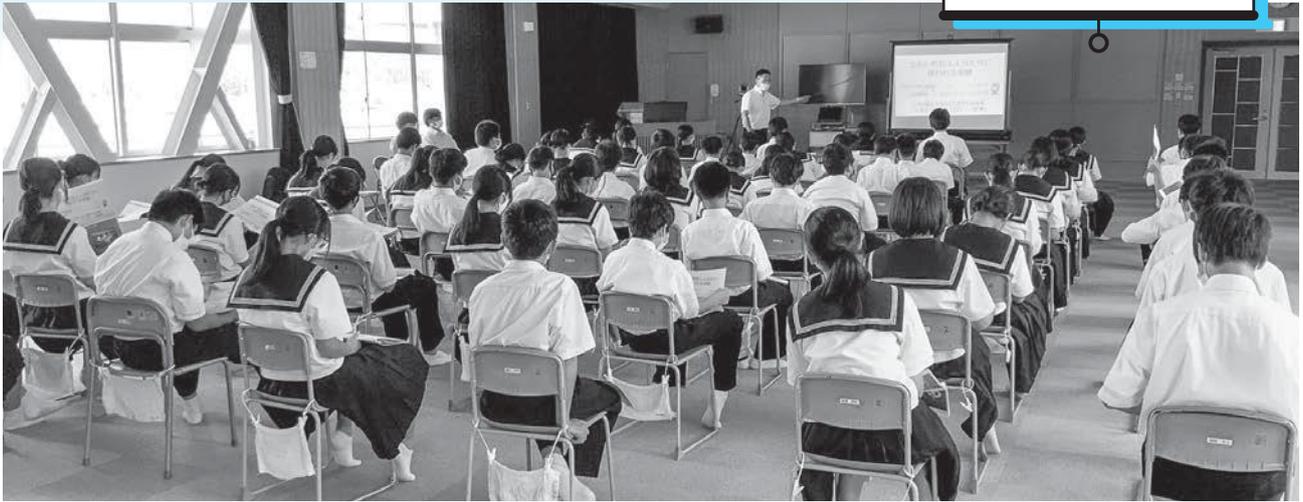
答 本格運行が一定程度経過してから、アンケートなどの調査を実施してニーズの把握に努めたい。

議員の仕事は？

大飯中学校
1年生

in 中学校

もっと好きになって欲しいとの思いで、各中学校の先生方と
にて、議会の仕組みや役割、議員活動、おおい町の魅力や



- ・北陸新幹線の早期全線開業が待ち遠しい
- ・25歳になったら選挙に出たい
- ・いろいろな業種の就職先を増やして欲しい
- ・おおい町はほかの市町よりICT教育に力を入れていることがわかった
- ・僕がプロ野球選手になったらおおい町は有名になる
- ・議員は一人でたくさんの委員会を兼務していると知った



真剣に耳を傾け、
考えてくれました



- ・特産品を使った料理をもっと道の駅で出して、「また来たい」と思って欲しい
- ・県外からもおおい町に行きたいと思える町にして欲しい
- ・どの世代も快適に過ごせる町に
- ・32年間も議員をされてると聞いてびっくり
- ・10年後には私はおおい町にいないと思う
- ・おおい町のさまざまな課題が聞けて良かった



議会って何？

出前懇談会

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

名田庄中学校 全校生徒

おおい町の今後を担う若者に、町のことを知ってもらい、協議し、6月17日に名田庄中学校、6月29日に大飯中学校課題について、中学生のための議員出前懇談会を開催しました。



- ・子育て支援が豊富なのでもっと宣伝したら
- ・原子力発電所のおかげでおおい町が豊かなのだと知りました
- ・町長と議会の関係性がわかってよかった
- ・名田庄にコンビニができれば観光客も住民も喜ぶと思う
- ・人口が減っていくのは寂しい
- ・自慢できるおおい町を忘れたくない

若者目線でたくさん意見をもらいました



- ・町の魅力をもっと県外の人に伝えたい
- ・他市町に比べて一人当たりに使われる金額が多いことがわかった
- ・大人になり他県に行ってもおおい町のことを考えていようと思った
- ・おおい町に生まれてよかった
- ・人口が減る理由はもっとあるのでは
- ・町のために提案や手助けをしていきたい

令和4年9月定例会議 議案審議結果

議案番号	件名	審議・付託	議決結果	参照先
報告第8号	専決処分の報告について（特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例）	〈全協〉	承認	P9
報告第9号	令和3年度決算に基づく健全化判断比率の報告について		承認	
報告第10号	令和3年度決算に基づく資金不足比率の報告について		承認	
認定第1号	令和3年度一般会計及び8特別会計歳入歳出決算の認定について	〈予算〉	認定	
議案第43号	議会議員及び町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について	〈総務〉	原案可決	P9～10
議案第44号	職員の育児休業等に関する条例の一部改正について		原案可決	
議案第45号	令和4年度一般会計補正予算（第4号）	〈予算〉	原案可決	P10
議案第46号	令和4年度後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第47号	令和4年度国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第48号	令和4年度国民健康保険診療事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第49号	令和4年度介護保険事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第50号	令和4年度介護サービス事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第51号	令和4年度簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第52号	令和4年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第53号	令和4年度特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）		原案可決	
議案第54号	工事請負契約の締結について（漁港施設整備工事（畑村防波堤））		〈産建〉	
議案第55号	動産の取得について（役場庁内情報系サーバ機器）	〈総務〉	原案可決	
議案第56号	動産の取得について（役場庁内情報系ネットワーク機器）		原案可決	
議案第57号	動産の取得について（保健・医療・福祉総合施設X線一般撮影装置）		原案可決	
議案第58号	動産の取得について（公立学校情報機器（校務系パソコン））		原案可決	
議案第59号	工事請負契約の締結について（大飯図書館史料館照明設備LED化改修工事）	〈産建〉	原案可決	
議案第60号	製造請負契約の締結について（移動脱水乾燥車製造業務）	〈産建〉	原案可決	
—	議員派遣報告および議員派遣	—	報告および派遣	

■賛否が分かれた議案

	屋敷	田中	堤	桑田	細川	原田	藤原	辻	尾谷	猿橋 ^啓	浜上	今川	松井	猿橋 ^巧
認定第1号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●
議案第45号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	●

○は賛成、●は反対、除は除斥、退は退席、欠は欠席（松井議長は採決に加わらない）

9月定例会議

令和4年8月30日(9月20日)

審議内容

9月定例会議に付議された、報告3件、認定1件、議案18件を審査した。

報告事項

報告事項を承認

●報告8号〈全協〉

専決処分報告について(特定公共賃貸住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例)

特定優良賃貸住宅の供給に関する法律の施行規則の一部を改正する省令の施行に伴い、条例の一部を改正するもの。

【主な改正内容】

- ・入居者資格について、一定の条件を満たす者を新たに親族に準ずる者としてみなす。

【全会一致・承認】

●報告9号〈全協〉

令和3年度決算に基づく健全化判断比率の報告について

実質赤字比率・連結実質赤字比率・実質公債費比率・将来負担比率は、いずれも早期健全化基準を下回り良好な状態である。

- ・実質公債費比率1:0
- ・その他 算定されず。

【全会一致・承認】

●報告10号〈全協〉

令和3年度決算に基づくおい町資金不足比率の報告について

特別会計において資金不足比率は算定されず、いずれも経営健全化基準の20%を下回り良好な状態である。

【全会一致・承認】

決算認定

令和3年度決算を認定

●認定1〈予算〉

令和3年度おい町一般会計及び8特別会計歳入歳出決算の認定について

一般会計及び8特別会計の決算について、地方自治法第233条第3項の規定に基づき議会の認定を求めるもの。

※主な事業や質疑内容はP25~P5(特集1)に記事有り。

討論

○反対 猿橋 巧議員

原子力発電からの税収入に頼らない、ポスト原子力発電に向けた町の運営を求める。また、ごども家族館の管理費は県が持つべきである。よって反対である。

○賛成 尾谷和枝議員

予算の執行については各産業などへの措置が適格で、基金についても適正に管理されており、町の財政健全性は確保できているため、賛成である。

【賛成多数・認定】

議案審議

条例改正を可決

●議案43号〈総務〉

おい町議会議員及びおい町長の選挙における選挙運動の公営に関する条例の一部改正について

公職選挙法施行令の一部が改正されたことにより、所要の改正をするもの。

【主な質疑】

公職選挙法施行令の公営に要する費用の限度額改正は昨今の物価変動も理由なのか。

答

公営に関する経費は、3年に1度の参議院通常選挙の年に基準額を見直すことが国の例とされており、今回の改正理由は最近の物価変動である。

【全会一致・可決】

議案審議

条例改正を可決

●議案44号〈総務〉

おい町職員の育児休業等に関する条例の一部改正について

地方公務員の育児休業等に関する法律の一部改正と人事院からの意見の申出を受けたことから、所要の改正をするもの。

【主な質疑】

公職選挙法施行令の公営に要する費用の限度額改正は昨今の物価変動も理由なのか。

補正予算を可決

●議案45号〈予算〉

令和4年度おい町一般会計補正予算(第4号) 8397万4千円増額

【主な歳出内容】

- バス対策事業 339万8千円増額
- 名田庄こども園運営事業 1401万7千円増額
- 予防事業 1876万3千円増額
- 県単土地改良事業 1438万円増額
- 頭巾山青少年旅行村管理運営事業 866万8千円増額

【主な質疑】

複合型交流施設第2期整備において、北陸新幹線敦賀開業となる令和6年度にホテル工事を計画しているが、誘客ができないのでは。

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

答 工事については事業者からホテルの休業期間の短縮などの提案が出てくるのが考えられる。

問 名田庄地域のデマンドバス運行は名田庄地域に限られるが、対応は。

答 法的なことや、交通事業者との関係もあることから、現在の運行計画に理解を求め

問 官学連携事業の来年度に向けた検討予算の内容は。

答 今までの政策コンテストは、提案のみであったが、学生たちが自分たちで実現できる提案とし、次年度に取り組めるよう必要な旅費などである。

討論

○反対 猿橋 巧議員

ホテルうみんぴあに係る15年間の債務負担行為の設定は長すぎることから反対である。

○賛成 堤 満也議員

債務負担行為については、今後のうみんぴあエリアのさらなる活性化を図るもので適正である。また、名田庄地域のデマンドバス試行運行やコロナ対策などの適正に計上されており賛成である。

【賛成多数・可決】



ホテルうみんぴあ

●議案46号〈予算〉

令和4年度おおい町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

6万円増額

【全会一致・可決】

●議案50号〈予算〉

工事請負契約の締結を可決令和4年度おおい町介護サービス事業特別会計補正予算(第1号)

56万9千円増額

【全会一致・可決】

●議案47号〈予算〉

令和4年度おおい町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)

825万8千円増額

【全会一致・可決】

●議案51号〈予算〉

令和4年度おおい町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)

87万2千円減額

【全会一致・可決】

●議案48号〈予算〉

令和4年度おおい町国民健康保険診療事業特別会計補正予算(第2号)

82万4千円増額

【全会一致・可決】

●議案52号〈予算〉

令和4年度おおい町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)

391万1千円増額

【全会一致・可決】

●議案49号〈予算〉

令和4年度おおい町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)

702万円増額

【全会一致・可決】

●議案53号〈予算〉

令和4年度おおい町特定環境保全公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)

508万7千円減額

【全会一致・可決】

工事請負契約の締結を可決

●議案54号〈産建〉

工事請負契約の締結について(漁港施設整備工事(河村防波堤))

荒天時の時化などから、漁港施設や漁船などの漁業設備の保全を図り、漁業者の安全を確保するため、5年間の工期で防波堤を整備するもの。
・契約金額
2億1258万2799円
・契約の相手方
株式会社時岡組

主な質疑

問 工事にあたり、地域住民や地元漁協との信頼関係は大変重要になってくると思うが、町の考えは。

答 漁協等などと十分に協議して、漁業者の安全を最優先に地元や請負業者などと協議を重ねていく。

【全会一致・可決】



河村防波堤建設予定地

動産の取得を可決

●議案55号〈総務〉

動産の取得について（役場庁内情報系サーバ機器）

安全で効率的な行政事務環境の整備を図るため、役場庁内情報系サーバ機器を更新するもの。

・ 契約金額

4315万円

・ 契約の相手方

リコージャパン株式会社

主な質疑

問 購入すると修繕費用が必要になる

が、リース方式との比較はされたのか。

答 リースの場合は、リース料率がかかり金利分が上乗せされることになるため、購入の方が安く見込め、購入により運用し、経費の節減を図る。

【全会一致・可決】

●議案56号〈総務〉

動産の取得について（役場庁内情報系ネットワーク機器）

安全で効率的なネットワークの構築を図るため、通信およびセキュリティ対策機器の更新を行うもの。

・ 契約金額

3658万円

・ 契約の相手方

リコージャパン株式会社

【全会一致・可決】

●議案57号〈総務〉

動産の取得について（保健・医療・福祉総合施設X線一般撮影装置）

X線一般撮影装置を施設の医療用機器更新計画に基づいて更新するもの。

・ 契約金額

1045万円

・ 契約の相手方

丸文通商株式会社

主な質疑

問 現在使用している機器の処分はどうするのか。

答 下取りは無く、今回の動産取得請負の中で、適正な処分を行う。

【全会一致・可決】

●議案58号〈総務〉

動産の取得について（公立学校情報機器（校務系パソコン））

教職員の校務系パソコンを更新するもの。

・ 契約金額

2849万円

・ 契約の相手方

西日本電信電話株式会社

主な質疑

問 パソコンのメーカーや機種、ソフトの選定はどのように行ったのか。

答 各小中学校の教員と十分に打ち合わせを行い、調整を行ったうえで、予算の範囲内で

使用できるものを学校教養課で選定した。

【全会一致・可決】

工事請負契約の締結を可決

●議案59号〈総務〉

工事請負契約の締結について（大飯図書館史料館照明設備LED化改修工事）

一般照明、非常灯、誘導灯の各照明器具の取替を行うもの。

・ 契約金額

6146万8千円

・ 契約の相手方

株式会社荒木

主な質疑

問 工期中に閉館する期間はあるのか。

答 予定工期は令和5年2月28日までとしており、それまでの期間中に2週間程度の休館を予定しているが、休館時期等の詳細は利用者の利便性を最優先にして、

今後の工程会議で調整していく。

【全会一致・可決】

製造請負契約の締結を可決

●議案60号〈産建〉

製造請負契約の締結について（移動脱水乾燥車製造業務）

下水道の終末処理場から発生する汚泥を脱水・乾燥し、肥料にする装置をトラックに積載させた、移動脱水乾燥車を製造するもの。

・ 契約金額

1億1216万7千円

・ 契約の相手方

関西産業株式会社

主な質疑

問 製造の方法

答 ※制限付き一般競争入札（事後審査型）
※制限付き一般競争入札（事後審査型）とは入札後に資格審査を行い、落札者を決める方法。

主な質疑

問 多額の費用をかけて機械を導入するが、作られた肥料はどのように利用されるのか。

答 できた肥料は町民への利益につながるように、今までどおり、希望者に無料配布する。

希望者に無料配布する。

広報やホームページで周知して、広く利用していただきたい。



完成した肥料



移動脱水乾燥車

原子力政策の一元的責任を有する国に対し、原子力政策の推進を求める

要請活動

【期 日】 令和4年8月4日(木)

【要請先】 経済産業大臣

萩生田光一氏

資源エネルギー庁次長

小澤典明氏

内閣官房長官

松野博一氏

【要請者】 おおい町長

おおい町議会議長

総務常任委員会委員長

産業建設常任委員会委員長

原子力発電対策特別委員会

委員長

おおい町議会では、原子力政策の一元的責任を有する国に対し、原子力政策の明確な方針を示すこと等、5点の項目について、おおい町長とともに要請活動を行いました。国に対し要請した項目と内容は次のとおりです。



1 6月に決定された「経済財政運営と改革の基本方針（骨太方針）」において明記された「原子力の最大限活用」に整合する「エネルギー基本計画」となるように、計画の早期見直しを要請。

（昨年10月に策定された「第6次エネルギー基本計画」においては、原子力政策の方向性として「原発依存度については可能な限り低減させる」としており、骨太方針の「最大限活用」と不整合になることから、国に対しエネルギー基本計画の見直しを求めるもの。）

2 新增設・リプレース議論がされないことは安全性向上の点からも不合理であり、立地地域の理解は得られないことから、原子力政策の将来像を早期に明確に示すとともに、より安全性の高い革新炉開発を強力かつ迅速に押し進めること。

（原子力発電所は「新規制基準」を基に適合性検査を受け安全確保に取り組むが、新たな情報によって基準が変更となった場合は最新の基準への適合を義務付けており、より安全性の高い方式導入の推進を求めるもの。）

3 使用済燃料プールの貯蔵限界から、稼働停止までの時間は限られており、立地地域の安全確保とともに、核燃料サイクルを着実に推進すること。

（使用済燃料プールの容量があと6～7年と言われる中で、稼働停止を招くことがないように対策することが、エネルギー安全保障や環境の面からも国の責務である。）

4 原子力理解は深まりつつあるものの、立地地域以外の政策推進は困難であり、時間を要することは明白であることから、立地地域との信頼を損なうことの無いよう、その持続的発展に向けた振興策を積極的に講じること。

5 原子力理解のために、我が国の切迫状況について二酸化炭素削減目標に対する排出量、電力需給の逼迫や料金高騰、気象災害等、国民生活への影響やリスクを常に可視化して具体的に示すこと。

大飯発電所の安全を確認

【期 日】令和4年9月6日(火)

おおい町原子力発電対策特別委員会の所管事務調査は、大飯発電所の運営状況と特定重大事故等対処施設の運用開始状況を視察しました。

運営状況

大飯1・2号機については、昨年系統除染が終了し、現在は2次系のタービン建屋設備の一部を撤去中です。

また、原子炉容器内の構造物の試験採取を行い、施設内に残存する放射能の評価・汚染状況を把握する作業中です。

大飯3・4号機については、営業運転中です。

特定重大事故等対処施設の運用開始状況

テロ等による施設の大規模損壊に対応できるように、緊急時制御室・非常用発電機・水源・注水ポンプが運用開始され、原子炉格納容器の減圧設備やフィルタバントが設置されました。

構内の安全を確認

構内一巡、緊急時対策室、免震事務棟を確認

視察後の主な質疑応答は、緊急対策室は廃炉措置中の1・2号機でも対応しているのかの質問に、対応しているとの回答。

特定重大事故等対処施設の水源は十分炉心を冷却できる状況かの質問に、十分対応しているとの回答でした。

また、常に人が詰めているのかの質問には、24時間体制で365日常時詰めて職務に当たっているとの回答でした。



決算審査の重要性を再確認

福井県町村議会議長会主催で議員研修会が行われました。決算審査における議会の重要性を再認識しました。

【期 日】令和4年8月19日

【場 所】全員協議会室
(オンライン研修)

【参加者】議員14名

【講師】同志社大学名誉教授
新川達郎氏

内容

「決算審査における議会の意義と重要性」

1. 予算決算制度と議会の役割
(予算決算の審議過程と議会による議決の意義)
2. 決算をめぐる制度改革とその運用
3. 決算制度と議会審査の意義
4. 決算書を読み解く
5. 決算議会の諸問題と改革の展望
(論点、注目点)



決算認定とは、議会が1年間の決算内容を確認し、確定することです。決算を認定するために、法律に適合しているか、計算は正しいか、使われ方は適正かなど、使われた結果を検討し、今後の予算編成や行財政運営の改善に役立てるのが決算審査となります。

今後、厳しい目で審査をしてまいります。

町政二つが聞きたい!

9月定例会議では、4人の議員が一般質問を行いました。

厩舎も併せて再整備するのか

町長 リニューアル方針を今年度内に決定し、再整備を進める



ほそかわまさひろ 細川 正博

場合、頭巾山青少年旅行村が最適地となる調査結果が出ています。このことも念頭に入れた計画が必要では。

答 (商工観光課長) 同エリアの再整備計画を検討するなかでは

問 頭巾山青少年旅行村再整備を進めることとなった経緯は。

答 (町長) 旅行村内の各施設は、経年劣化に伴う修繕箇所が年々増加傾向にある。道の駅やPR物産館、そば処よつてつ亭は店舗が手狭であり、駐車スペースの不足など構造上の課題もあるため、同エリア全体の見直しが必要と考えている。

問 厩舎の再整備についても同時に検討していくのか。

答 (町長) 昨年度から、土御門家の歴史保存調査として、古文書などの調査、解説、修復を行っている。この調査に基づき、展示内容の

問 グランピングをおおい町で展開する

場合、頭巾山青少年旅行村が最適地となる調査結果が出ています。このことも念頭に入れた計画が必要では。

問 現在のホテル流星館は、合宿客をターゲットとしているが、今後、大飯地域に新たな合宿施設の計画があるため、誘客のターゲットを変える必要があるのではないか。

計画を検討するなかではグランピングの検討を考えるが、それありきで検討を進めることはない。

※グランピングについてはP.19に関連記事あり

P.19に関連記事あり

答 (町長) ホテル流星館と他の同様の施設との差別化は、大変重要だと考えているため、さまざまな角度から検討を進めたい。

リニューアル方針を今年度内に決定し、施設再整備については、頭巾山青少年旅行村の基本計画と連動して進めていきたい。

現在のホテル流星館は、合宿客をターゲットとしているが、今後、大飯地域に新たな合宿施設の計画があるため、誘客のターゲットを変える必要があるのではないか。

現在のホテル流星館は、合宿客をターゲットとしているが、今後、大飯地域に新たな合宿施設の計画があるため、誘客のターゲットを変える必要があるのではないか。

物価高への対応は

問 国は物価高騰への経済対策として、再度、住民税非課税世帯に5万円給付を計画している。前回の対策では、町は独自に住民税非課税世帯や低所得の子育て世帯に支援の拡大を行ったが、今回も考えているのか。

答 (副町長) 国の対策では、子育て世帯への給付金については明文されていないが、国や県の動向を注視しながら、財源などを考慮し、検討していきたい。

問 燃料高騰による一次産業への支援として、既存補助の燃料費助成を増額することはできないか。

答 (副町長) 国では燃料油の卸売価格抑制の措置を実施しており、期間が本年末まで延長された。今後も燃油等

の価格の動向を注視しながら、改善の兆しが見込めない場合には町として、追加支援について検討したい。

問 公共施設の指定管理委託料は、物価にに応じた適切な金額を算定しているのか。

答 (副町長) 基本的には、指定管理者の見積額をベースに精査をしており、国内経済状況を考慮した所要額が積算されているものと認識している。

問 名田庄地域でデマンドバス運行により計画を進めていたが、デマンドバス運行により計画は無くなったのか。

答 (副町長) 今後の公共交通については、社会経済情勢の変化に対応できるよう、あらゆる

の価格の動向を注視しながら、改善の兆しが見込めない場合には町として、追加支援について検討したい。

公共施設の指定管理委託料は、物価にに応じた適切な金額を算定しているのか。

基本的には、指定管理者の見積額をベースに精査をしており、国内経済状況を考慮した所要額が積算されているものと認識している。

名田庄地域でデマンドバス運行により計画を進めていたが、デマンドバス運行により計画は無くなったのか。

ゆる選択肢を念頭に置いて検討する必要がある。

自家用有償旅客運送を計画された地元住民の皆さんの思いもあるため、計画が無くなったという認識はない。

問 運行が名田庄地域に限定されることは、大きな課題である。

答 (町長) 法的なことや交通事業者との関係もあり、今の計画としているが、大きな課題であることは認識している。今後、ニーズに

名田庄地域でデマンドバス運行により、免許返納希望者が増えると考えますが、交番などで免許返納できないか。

答 (防災安全課長) 町民の方の身近なところでの手続きにつながるため、出張サービスができないか、小浜警察署に相談する。

デマンドバス運行により、免許返納希望者が増えると考えますが、交番などで免許返納できないか。

町民の方の身近なところでの手続きにつながるため、出張サービスができないか、小浜警察署に相談する。

町民の方の身近なところでの手続きにつながるため、出張サービスができないか、小浜警察署に相談する。

町民の方の身近なところでの手続きにつながるため、出張サービスができないか、小浜警察署に相談する。

町民の方の身近なところでの手続きにつながるため、出張サービスができないか、小浜警察署に相談する。

町民の方の身近なところでの手続きにつながるため、出張サービスができないか、小浜警察署に相談する。

町民の方の身近なところでの手続きにつながるため、出張サービスができないか、小浜警察署に相談する。

町民の方の身近なところでの手続きにつながるため、出張サービスができないか、小浜警察署に相談する。

特集

審議内容

活動報告

一般質問

追跡

政府のエネルギー方針転換について、立地町としての受け止め

町長 安全性の確保を大前提に現実的で明確なエネルギー政策を期待



おだに かずえ
尾谷 和枝

問 政府の「原子力発電の運転期間延長や次世代型炉の開発建設を検討し年末までに結論を出す」という方針転換に対する受け止めは。

答 (町長) ようやく政府が国民を守るために現実的な方向性のために舵を切ろうとしているものと受け止め、現実的で明確な原子力・エネルギー政策が示されるよう期待する。

問 エネルギー基本計画との矛盾は早期

に修正を求めるべきでは。

答 (町長) 早期に整合するよう変えていただくのが当然。国民理解を進め、原子力政策を明確化されるよう求めていく。

ヨウ素剤の事前配布

問 事前問診や薬局配布が可能となったことにより、妊産婦や既往症などを相談できる体制が整ったが、新たな対象と配布方法は。

答 (町長) 緊急時に迅速に受け取りが困難と判断される※UPZ地域の方も新たに説明会や指定薬局での受け取りが可能となった。

問 基準とされる40歳を越えた方への町の対応は。

答 (防災安全課長) 希望があれば配布する。

問 アレルギーや投薬などで判断が難しい場合の対応は。

答 (防災安全課長) 健康管理センターの医師に相談できる体制となっている。

低地への浸水対策

問 新幹線や舞若道4車線化等大型建設工事により、大量に発生するトンネル残土を活用し、大雨浸水対策として低地への盛り土やかさ上げを行ってはどうか。

新幹線や舞若道4車線化等大型建設工事により、大量に発生するトンネル残土を活用し、大雨浸水対策として低地への盛り土やかさ上げを行ってはどうか。



西街道の冠水状況

答 (副町長) 現在浸水地域への対策は、貯留槽新設による対策や、排水能力を向上する水路改修などにより対応している。

今後、残土利用の事業検討は関係者と協議していく。

問 主要道路の分断を防止するために、移転補償などに問題がない道路の公共工事は可能と思うが、町の方針や計画は。

答 (建設課長) 西街道の本郷区周辺を、豪雨時の冠水対策として排水機能の拡大とかさ上げ改良工事を計画している。

漏水への対処

問 漏水の発生状況や対応策は。

答 (町長) 4月から18件発生し、特に佐分利地区で連続し不安をおかけしお詫びする。職員が遠方監視システムにより24時間体制で監視し、漏水兆候の早期発見に努め、頻発路線は管路の布設替えを行っている。長期的な対応については、令和6年の公営企業会計へ移行後に検討したい。

問 漏水の原因と当面の対処は。

答 (くらし環境課長) 原因は老朽化と土圧など、地盤の変動で負荷がかかる事象が多い。布設替え時には、100年寿命が検証されたポリエチレン管で高寿命化を図る予定である。

女性活躍

問 女性活躍推進法の施行により、誰もが働きやすい環境作りが求められているが、取り組み状況は。

答 (副町長) 令和3年から5カ年計画で、職員の仕事と、生活の調和・子育ての両立・女性活躍推進を基本視점에掲げ、これまでに推進している。

問 誰もが暮らしやすい社会をつくるためには、政策方針や地域における方針決定過程への女性参画を促す必要があるが、まずは町の協議会などの女性登用率をあげることからでは。

答 (住民窓口課長) 4月現在24.3%である。今後さまざまな分野に女性の意見が反映できるように、関係各課と連携を図り推進していく。

※UPZ地域…発電所から30km圏内の地域のこと

進学サポート給付金の今後の方針は

町長 現時点ではやめることは考えておらず、有効な制度として改善を図っていく



はらだ かずみ 原田 和美

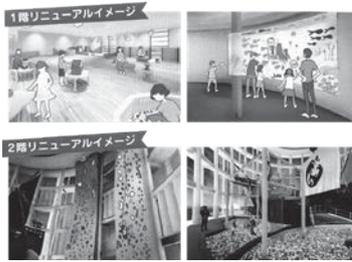
子どもの遊び場は

問 開館15周年を迎える福井県立子ども家族館のリニューアル工事の内容は。

答 (町長) 遊び探検ゾーンでは、既存のボールプールを基本に、高さ17メートルの大型クライミングウォールなどの設置が計画されており、11月から工事が予定されている。また、1階の展示設備コーナーを一新する工事が来年1月頃から予定されている。

問 大型クライミングウォール(※)は大人にとっても魅力があると思われるが、利用者や周囲の安全管理の対応は十分想定されているか。

答 (町長) クライミングウォールの大人の利用やスケートパークの占有利用等について、利



1階・2階リニューアルイメージ写真

※表面によじ登るための突起をつけた人工の壁。

答 (住民窓口課長) 他のクライミングウォール施設の運営方法を参考にしながら、子どもも大人も利用できる管理運用方法等について、福井県ならびに施工業者と検討していく。

用料金改定の条例改正を求める考えはあるか。

答 (住民窓口課長) あそび探検ゾーンの料金の改定や設定について、県と相談していく。

問 子どもが喜ぶモノキュメントとして、ポータルの蒸気機関車義経号をこども家族館広場に移設しては。また、恐竜モノキュメントの設置を県に要望してはどうか。

答 (町長) 子どもにとって夢のあるアイテムの活用について、十分検討していきたい。



ぽーたるに展示してある義経号

問 県が各市町に対し、1億円を限度

額として補助率10割で支援を行う「子供の遊び場整備事業(全天候型遊び場)」について、町の考えは。

答 (町長) この事業は、天候に関わらず子どもの遊び場として利用できる室内空間を確保し、健やかな成長に配慮した遊具等を設置するもので、町内全体のバランスを考慮しながら活用について検討を進めていく。

問 利用者のニーズに合った効果的なものにするために、子育て世代の意見や要望を聞く場を設ける考えはあるか。

答 (住民窓口課長) おおい町次世代育成支援対策地域協議会で開催する子ども子育て会議の場を通して、意見や要望を聞きたいと考えている。

介護人材の確保は

問 昨今、介護人材の確保が問題になる中で、町における対応と方針は。

答 (いきいき福祉課長) 町としては資格取得費等の助成や、研修の機会の確保等、人材確保や資質向上に取り組んでいるが、町単独の事業で解決できるものではなく、県や各専門職団体と連携しながら人材確保に向け働きかけていく。

問 介護人材の問題は広域的な課題である。県知事への要請や働きかけは十分か。

答 (町長) 知事要望の場などを活用しながら、しっかりと要請を行っていく。

花と緑で潤いあふれる街づくりを提案する

町長 取り組みが広がるよう働きかけをしていく



さるはし 猿橋 たくみ 巧

問 防犯上、大きな役割を持つのが生垣

答 であると考ええる。剪定などへの、補助制度で緑のまちづくりに取り組んでもらう。

問 (建設課長) 生垣

答 においては、防犯や、生活に潤いと癒しを与えてくれるものと認識するが、所有者の責任において、適切に維持管理をしていただくことが原則である。

小中学校の課題

問 今年も小・中の全国統一テストが行

答 われたが、教育の充実に向けた効果があるのか。

問 (教育長) 学校や

答 児童・生徒の現状を客観的に把握する貴重な機会であり、分析結果は教育の充実に向けた重要な資料である。

問 全国の小中学校で行

答 わず抽出でいいのではないか。

問 (教育長) 子ども

答 たちの状況は、年度や地域、学校でさまざまであるため、全数調査が妥当であると考ええる。教員の増員についての考えは。

問 (教育長) 教職員

答 の増員については県に対し引き続き強く要望していく。

問 憲法26条では、義務教育の無償を定

答 めている。これに基づき学校給食の完全無償化を求めるが見解は。

問 (教育長) 最高裁

答 において無償となる費用には給食費などは含まれないとの判決が出ている。また給食法では給食に必要な経費は保護者負担が定められている。本町ではさまざまな補助を行い、学校給食費の保護者負担を軽減している。

問 町内小中学校の校

答 舎や校庭、教職員宿舍の長寿命化計画の実施状況は。

問 (学校教育課長)

答 おおい町学校施設長寿命化計画に基づき、劣化状況や財政状況を勘

案しながら順次実施していく。校庭や樹木、教職員宿舍については、状況を確認し対応していく。

原子力における諸問題

問 町民広域避難先の自治体との協議は

答 進んでいるのか。

問 (町長) 広域避難

答 調整会議において、避難計画の実効性確保に向けた協議をしている。

問 安定ヨウ素剤の配

答 布は12歳以下の方、妊婦、授乳婦の方、障がいや病気などにより速やかに避難行動を取ることが困難な方と同居家族だけではないのか。

問 (町長) 対象者に

答 ついては県と嶺南6市町との協議において決定した。廃炉に伴う交付金の支給は10年であ

り、産業構造の転換が図れない。本町としても交付期間の延長をさらに強く求めるべき。

問 (町長) 交付期間

答 の延長を含めた電源三法交付金の運用の柔軟化を国に対し、毎年度継続的に強く要請しているが、国の制度設計を更することは大変ハードルが高く、現時点で具体的な進展はない。

問 関西電力から発電

答 所における新型コロナウイルスの感染状況や企業の対策をどのように報告を受けているのか。

問 (副町長) 発電所

答 では、感染状況の変化に合わせて対策の周知を行っており、対策の実施状況や感染状況について適宜対面、電話、メールにより報告を受けている。



問 オープンガーデンとは一般の方に公開する個人や団体の庭園のことであるが、町内にも、さまざまな取り組みをされている方がいる。所有者への支援と地域交流、コミュニケーション形成を制度化してどうか。花と緑で潤いあふれるまちづくりを提案する。

答 (町長) オープンガーデンの趣旨は、十分理解している。取り組みが広がるよう働きかけをしていく。

追跡

あれから どうなったの？

a follow-up survey

議会だよりでは、定例会議での一般質問の要旨を掲載していますが、議員からの提案などが、その後、どのように町政に反映されたかを、追跡調査してみました。

ちょっと
深掘り！

審議内容

活動報告

一般質問

追跡



うみんぴあ大飯に グランピングの整備を

コロナ収束後の新たな観光拠点や冬場の誘客を見越した整備を早急に検討すべき。

(令和2年6月議会 屋敷浩道 議員)

町長答弁

しっかりと検討し、 取り組んでいきたい

コロナの感染拡大に伴い、アウトドアの部分に拍車がかかるとみている。適地などを含めた検討をしっかりと取り組みたい。

どうなった？

令和3年度予算にて、 調査費を予算化

町内におけるグランピングの設置適地や、誘客の同線、既存施設との適合性などをコンサルタントに調査を依頼した。

・グランピングとは

グラマラス（豪華な）とキャンプを組み合わせた言葉で、キャンプ道具を用意しなくても気軽にキャンプを楽しめる体験のこと。

調査結果（抜粋）

(1) ニーズ調査

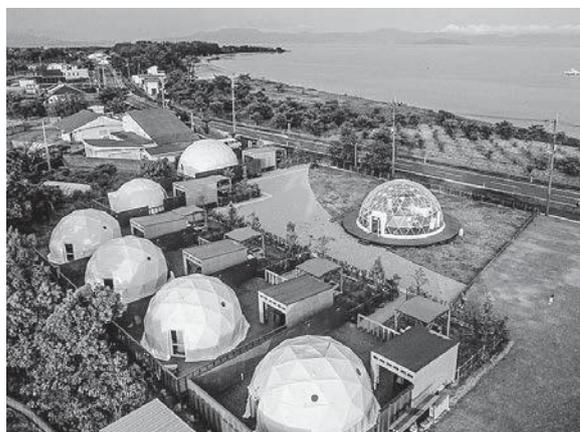
- ・アウトドア市場は、コロナ禍の影響を受けながらも一定水準で推移する予想。
- ・インバウンド旅行者が「特別な日本」を体験する手段として有効である。
- ・北陸新幹線敦賀開業により、首都圏を中心とした他地域との交流人口の増加が予想される。

(2) ヒアリング調査

- ・アウトドアにより町としての独自性を確立できる可能性がある。
- ・京都、滋賀の既存グランピング施設とは一線を画し、ファミリー・法人をターゲットとした施設が望ましい
- ・おい町全体の宿泊施設のバランスを考慮すると、山側（名田庄地域）では宿泊施設が不足していると考えられる。

●グランピング施設整備による効果

- ・観光客・宿泊客により効果的に町の魅力を伝え、届けることができる。
- ・地域の魅力を発信できることにより、町への移住・定住に繋がる可能性もある。



議会で調査研修した滋賀県高島市にある
グランピング施設

※P15に関連記事あり。



かがや 輝く人

一粒一粒

おいしくなあれ

長井区

徳庄ぶどう園

徳庄 たか江さん

今回の輝く人は、5年前に大阪からおおい町にUターンされ、長井区でぶどうの栽培をされているご夫婦にお話を伺いました。

Q たか江さんにとって都会から田舎へのUターンになりますか、おおい町に移住することについての想いや、実際に住んでみて、町の印象やここでの暮らしはどうですか。

A 子どもが小さい時から何度も来ていた夫の実家なのと、大阪では小学校の教員をしていて、ずっと人相手の仕事をしてきたので、自然の中で生活したいという思いがありました。ここでは自然の中で暮らし、自然を相手に仕事をすることがとても新鮮で、気持ちもゆったりします。

夫も司法書士の仕事をしながら手伝ってくれています。
Q ぶどう栽培を始められたきっかけは。

A 夫の親が遺した田をどうしようかとなった時に、近所にぶどう栽培のベテランの方がおられたこと、また、町から農業への支援が受けられることなど、色々な支えに恵まれて、踏み出すことができました。土地、指導者、資金など、ひとつでも欠けていたらできなかったと思います。特に、栽培の指導をいつでも受けられることには大変感謝しています。

Q 徳庄さんのぶどう愛は。

A 園では、巨峰やデラウェアという地域で昔から馴染みのある品種と、藤稜、竜玉などを栽培しています。道の駅やスーパーに出荷しており、たくさんの方に食べていただき、「美味しい!」と誉められているのが励みになります。

Q おおい町について期待することとは。
A 若い人も住みたいと思える町になるように望みます。



おおい町議会では、本会議をはじめ議員全員協議会や各委員会も公開しています。次回の定例会議は12月です。傍聴については議会事務局（77-4060）までお問い合わせください。

12月
定例会議の
予定

会 期：11月30日から12月20日まで（21日間）
本会議：11月30日（議案提案理由説明）、12月14日（一般質問）、20日（採決）
委員会：総務・産業建設常任委員会（12月1日）、予算決算常任委員会（11月30日）
原子力発電対策・地域振興対策特別委員会（12月2日）

編集後記

通年議事が導入され、初めての定例会議が開かれ、令和3年度決算認定をはじめ、多くの議案を審議・可決いたしました。

コロナ禍でさまざまなことに対し、自粛や規制をされましたが、3年ぶりの開催となった若狭おおいのスーパー大火勢は、例年以上に盛大に燃え上がり、心が疲弊していた皆さんに対し、元気を与えてくれたと感じています。

また8月上旬には突然の豪雨により、特に南越前町では、住宅浸水や土砂災害など多くの被害ができました。わが町でも危険な区域は多く、いつ災害が起こっても不思議ではありません。災害に強いまちづくりの推進に今後も議会として、行政と共に強く押し進めて参ります。

（屋敷記）

広報特別委員会

委員長	堤 満也
副委員長	原田 和美
委員	辻 徹
〃	細川 正博
〃	田中 秀樹
〃	屋敷 浩道